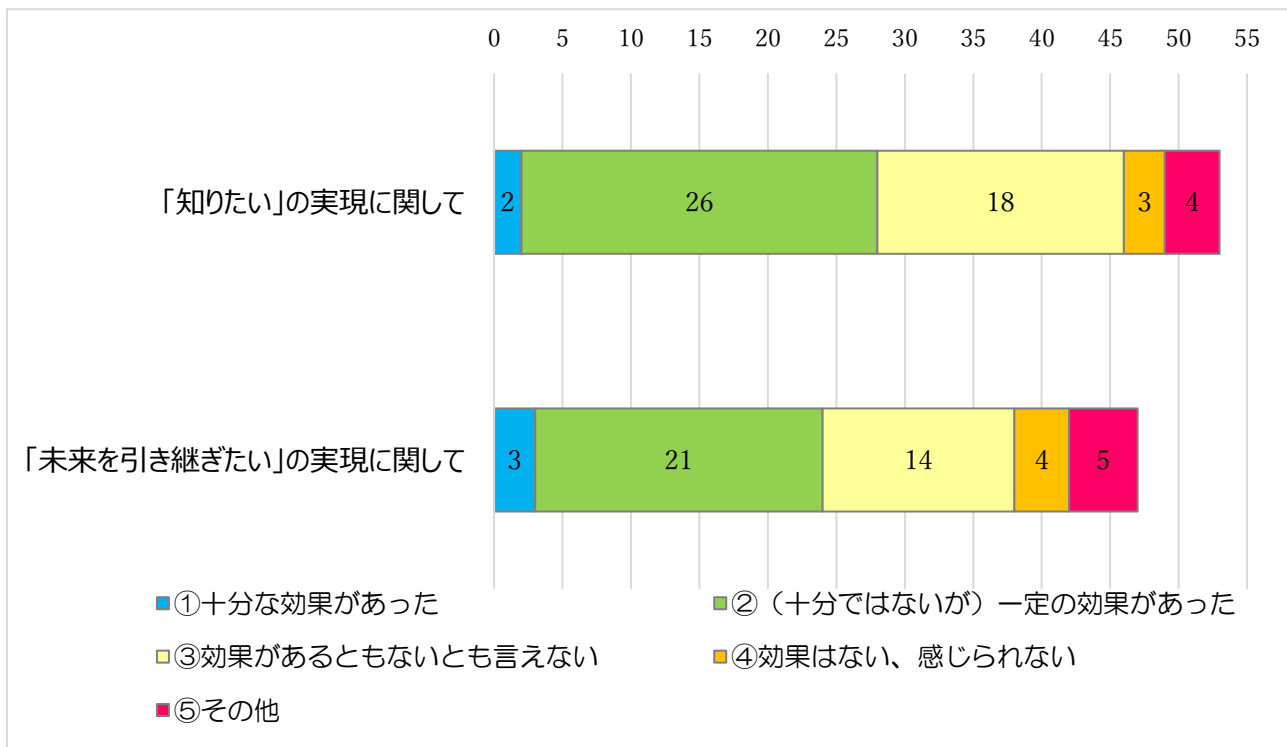


企業版ふるさと納税活用事業について

- ・町区長（75名）を対象として、無記名式によるアンケートを実施
- ・企業版ふるさと納税を活用して実施した下記の事業に関して、地方創生にどの程度の効果（影響）を感じるか／感じないかを選択回答するほか、自由記述による回答

事業名	吉見町町制施行 50 周年記念事業実行委員会補助金		
対象事業費	10,000,000 円（実行委員会事業予算）		
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・町制施行 50 周年記念事業実行委員会企画事業 <ul style="list-style-type: none"> →フラワーバスデーケーキ制作（10/30、フレサよしみ展示 11/1～11/6） →記念花火打ち上げ（11/3、町内 4 ヲ所） →YOSHIMIRAI スポーツフェスタ（11/12、ふれあい広場、町民体育館等） →YOSHIMIRAI いちごまつり（3/18、フレサよしみ） →みんなの願いごとメッセージカードによる「モザイクアート制作」 		
寄附企業 及び 寄附金額	伊田テクノス株式会社	東松山市松本町二丁目 1 番 1 号	1,000,000 円
	株式会社タナベ建設	鴻巣市鴻巣 1 1 8 8 番地 1	500,000 円
	有限会社建友総業	鴻巣市鴻巣 1 1 8 8 番地 1	100,000 円
	他 1 社（非公表希望）		
本事業の地方 創生に係る 位置づけ	「吉見を知りたい」を 実現する事業	町の魅力が多くの人に伝わり、関心を持つ人、応援してくれる人が増えていくまちづくりにつながる事業	
	「吉見の未来を引き継ぎ たい」を実現する事業	みんながまちの将来を「自分ごと」と捉え、自然や文化を大切に守り、みんなで参加し、みんなで取り組む未来へのまちづくりにつながる事業	

(人)



自由記述

- 町内4カ所の記念花火打ち上げはとてもきれいで、元気をもらった。今後も続けてもらいたい（ほか2件、同様の回答）
- 地方創生のために多額の費用を使うのであれば、花火のような一時的な事業ではなく、子どもたちのための本や学習の教材に寄附を活用してほしい。
- 広報などでお知らせされていたのかもしれないが、現在に至るまで事業を知らなかった。
- 広報や町のホームページを細部まで読み込まないと、事業の詳細が理解できない。分かりやすい情報発信をしてほしい。
- 記念花火以外の企画を知らなかった。アピールが不十分だったと思う。事業の企画、PRにプロのイベントプロデューサーを起用するなどした方が、広く知ってもらえることができ、もっと良い事業にできたのではないかな。
- 11月3日の記念花火はそれなりにインパクトがあり、近隣の自治体住民からも賞賛の声があったが、予算規模に対しての地方創生効果は小さい。町の各機関・組織の発信力不足が大変残念だった。
- 地方創生効果がどの程度あったか、判断が難しい。
- 「吉見を知りたいへの効果」を期待した事業として「記念花火打ち上げ」を実施したと捉えましたが、事業の位置づけが分かりにくいと感じる。
- 今後も高齢化が進行していく中で、若い人たちが町内に住める（住みたくなる）環境づくりを地方創生の観点から進めてほしい。そのためには税収の確保は必要であり、企業誘致を進め、交通面の充実や、子育て家庭の支援を拡充していくことが必要だと思う。
- 吉見町を全国にPRする取組、話題になる取組（町民体育祭、夏祭り、フリーマーケット等）の情報を、若い人の目線でマスコミも活用しながら全国に発信していくことが大切。いずれ広がった情報を見た人の中から、吉見町に関心をもってくれる人が現れる。
- 事業を立案することはものすごく大変だと思いますが、価値観は十人十色です。低い評価があるのもご理解ください。
- 地域の再生と、ふるさと納税を合体させている国の政策には、無理がある。